

病院搬送前に脳梗塞と脳出血を鑑別するスコアの作成についてのご説明

(1) 研究の目的

脳卒中は一般に後遺症をのこす病気です。この脳卒中のうち、脳梗塞に対するtPA静注療法があります。この治療を行うには、救急隊が脳卒中の患者さんをtPA静注療法可能な病院に搬送する必要があります。しかし、脳卒中のうち約40%は、tPA静注療法が受けられない脳出血です。

いまのところ、救急隊が脳卒中のうち、脳梗塞か脳出血を判断する方法はありません。そこで、本研究ではこれまで当院脳卒中科に入院された方を対象とし、来院時の症状・診察結果もとに救急隊が脳梗塞と脳出血を鑑別するスコアの作成を目指します。

(2) 研究の対象となる方へのお願い

この研究では、2004年4月から2008年9月まで、病気になってから6時間以内に、脳卒中になった現場から直接救急隊により搬送され、当院脳卒中科に入院された脳梗塞もしくは脳内出血の患者さんを対象とします。

ご自分もしくはご家族の車などで来院された方、ほかの病院から救急車で搬送された方、ヘリコプターで来院された方は対象ではありません。一過性脳虚血発作やくも膜下出血の方、小児や妊娠中であった方も除きます。

研究ではカルテより必要承認番号：533のデータを解析し、スコアを作成します。そこで、対象となる方には情報の使用を承諾して頂きたく存じます。（承諾される場合はご連絡不要です）。

承諾されない場合は下記の研究担当者に本人の情報を使用しないでほしいと、ご連絡をお願いします。ご連絡があった場合、データからその方の情報を削除します。なお、この場合でも、今後当院で受ける診療・治療に変更はありません。

(3) 個人情報（個人を特定できる情報）の保護の方法と情報の廃棄について

カルテから情報を抽出した後は、データ内から個人をできる情報を削除し、解析を行います。また、研究の成果は学会や学術雑誌で発表しますが、この中に個人を特定できる情報は一切含まれません。また研究が終了した際に、データは廃棄されます。

(4) 検査・薬剤等の費用負担や当院からの謝礼、ご本人への直接的な利益 ありません。

(5) 研究実施担当者の氏名・職名、連絡先

担当者：山下真史 川崎医科大学附属病院 脳卒中科 医師

連絡先 e-mail：yamashin@med.kawasaki-m.ac.jp

電話：086-462-1111（代表）

FAX：086-462-1128（脳卒中医学研究室）